

インプリントまちだ展 2020 すむひと⇔くるひと - 「アーティスト」がみた町田-2020. 6/9~9/13

#### ようこそ!「インプリントまちだ展 2020」へ

「インプリント」という言葉には"印"や"心にきざむ"といった意味が あります。たくさんの人に町田を知ってもらえるように、この展覧会では インドネシアから人気アーティストのアグン・プラボウォさんを招待し、 町田をみて感じたことを作品にしてもらいました。



#### インドネシア・クイズ♪

Q1.どこにある国かな?



#### Q2,いくつの島からできているでしょうか?

- ① 6.853
- 2 13,466
- 3 221,800
- Q3.平均気温は? ①15.7℃
- ②28.1℃
- (3)31.4℃
- Q4.信仰している人が一番多い宗教は?
- ①イスラム教 ②仏教 ③ヒンズー教

(こたえは14ページ)

# アグン・プラボウォさん Agung Prabowo



アグンさんはインドネシア語と英語を話します

アグンさんの家族 奥さんと子どもたち





バリ島にあるアグンさんの家

# アグンさんの作品をよく見てみよう



ふしぎな物がたくさん描かれているね。 何が描かれているのか、気がついたものを書きだしてみよう!

《運命の門》2018年、リノカット、180×120cm, 作家蔵



# 制作 ★材料と技法★





アグンさんのアトリエにある版画用プレス機











## 手作り再生紙

「人間と同じように自然も大切」というアグンさんは、環境問 題を気づかって、作品に使う紙を自分で作ります。古い紙をミキ サーで砕いてドロドロにし、ざるのようなもので紙の繊維をすく い取って水分を落とし、乾燥させて作ります。





自分で作った紙は、インクがよくしみ込んで、作品の仕上がりが 鮮やかになるそうです。

#### ★作品にもやさしい和紙★

アグンさんは 2019 年の菜首時に 埼玉県の手すき和紙工房で 伝統的な和紙づくりに挑戦しました。

「自然素材 100 パーセントで 作品が長持ちする和紙は素晴らしい!」

多くの紙は化学薬品が使われているため

時間とともにボロボロになってしまいますが、薬品を使わずに 伝統的な方法で作った和紙は丈夫で長持ちします。

## リノカット linocut

建物の床に敷く、リノリウム板を使った版画です。

木版画と同じように彫刻刀で彫ります。

できあがった版にローラーでインクをつけると、彫ったところは凹んでいるのでインクが付きませんが、彫らずに残したところにはインクが付きます。

アグンさんは靴底のはぎれ (写真の黒い板→) をもらってきて使うそうです。 これもリサイクル。 自然を大切にするアグンさんらしいですね。



## ★気候に合った版★

暑くて湿気が多いインドネシアでは、木版画の版木は空気中の水分量の変化で伸びたり縮んだりするため、刷りかさねるうちに絵柄がずれてしまいます。

それに比べ、リノリウムは安定して刷ることができます。 日に当たって温まった版は柔らかくて彫りやすいそうです。



アグンさんは、はっきりとした 線が彫れるところが、とても気に 入っているんだって。

#### 彫り進み版画

アグンさんは色々な方法で作品をつくります。そのひとつ、 「彫り進み版画」は、1 枚の版を使った多色刷り技法です。 1 色刷り終わるごとに、同じ版をさらに彫って次の色を刷り 重ねるため、はじめに刷った版はどんどん変わっていきます。





## ★Reduction Print★

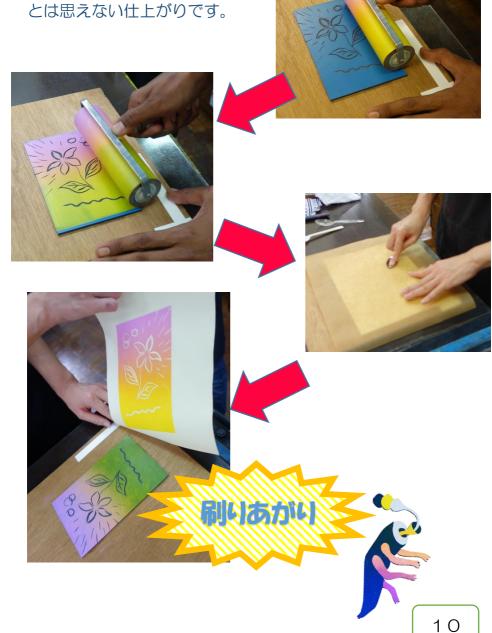
彫り進み版画は、20世紀の管底、パブロ・ピカソが編み出した技法です。刷る色ごとに下絵を版へ写す手間もかからないので、作品をつくるのがとても速かったピカソには、ぴったりの制作方法でした。ピカソが彫り進み版画でつくった作品は、国際版画美術館にも収蔵されています。

英語で "Reduction Print" (リダクション プリント) と言うんだよ。

## 彫り進み版画 制作の順番



1 版目をグラデーションで 刷るのがアグンさん流。 色が鮮やかで、3 版でつくった とは思えない仕上がりです。



#### 町田市のための新作

2019年の夏、アグンさんは14日間ほどを町田市で過ごしました。その経験をもとに、3点の版画作品がうまれました。

とても大きな作品で、絵の中にはさまざまな動物や不思議な 生き物があふれています。







「不安のプラズマを採取する」

「東京の夏の夜 故郷の大火」

「希望のプラズマを抽出する」

制作年:2020年

技 法: リノカット彫り進み技法・金箔、手製の再生紙 サイズ: 2100×3000 mm (60 枚組、各350×275 mm)

作家蔵

これらの作品は、左から"日本に来る前" "滞在中""日本から帰った後"のアグンさんの 体験や心の動きにインスピレーションを受けて 制作されたものだよ。



#### 「東京の夏の夜 故郷の大火」をよくみてみよう。

クモがいる?

コウモリかな?

鳥がいるね。

カエルだよ!



おうどんを 食べたのかな?

絵の中で大きくうねる白いヘビのようなものは、 ヒンドゥー教の蛇神"ナーガ"と、日本の竜を イメージしたものなんだ。



## どんなことを考えながら作品をつくっているのかな?

アグンさんの言葉をヒントに考えてみよう。

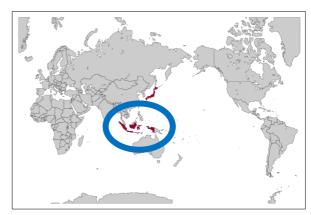
"Graphic art, for me, is a means of contemplation that helps me to find solace, a state of calm, a moment of freedom from the storm of fear."





"私にとって版画は、より深く思いをめぐらし、 なぐさめを見いだすための手段であり、心をおだやかにし、 不安という嵐から自由になることができるひと時なのです。"

# 1 ページのこたえ Q1,どこにある国?

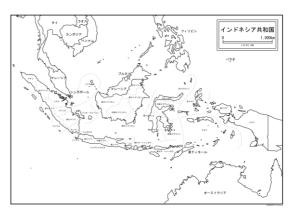


#### Q2,いくつの島からできているでしょうか?

**こたえ ②13,466** (面積は日本の約5倍もあります)

Q3,平均気温は? こたえ **②28.1℃** 

Q4,信仰している人が一番多い宗教は?こたえ ①イスラム教(約87%)



アグンさんのことが もっと知りたくなったら Instagram @agugn もみてね!



発行日 2020 年 7 月 15 日 編 集 町田市立国際版画美術館 上村牧子

この冊子は750部作成し1分当たりの単価は66円です。(職員人件費を副みます)